

学校だより



ドリーム

加古川市立別府西小学校
令和8年2月2日 No.16

1月15日(木)地震・津波避難訓練 防災士の方7名が来られて防災について学習をしました。



地震が収まり、外へ避難



津波から避難するため3階へ



3階へ静かに素早く避難完了。

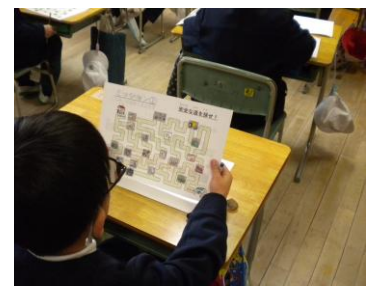
防災学習の様子

1年生 1月27日(火)



災害についての質問に地震・津波・台風・土砂災害」と、たくさん知っていることに驚きました。加古川で起こるかもしれない災害について教えていただき、実際に避難する訓練もしました。

2年生 1月27日(火)

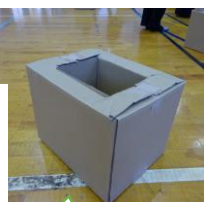


南海トラフ地震は60～90%の確率で30年以内に起こると予想されるので、自分たちで身を守るために大切なことについて学習をしました。防災迷路を解いた後、キーワードを並べて「ひなんははやく」という合言葉をみつけました。

3年生 1月28日(水)



新聞スリッパ



簡易トイレ

3年生は災害後の避難生活で役立つものづくりを教えてくださいました。新聞紙でスリッパを作りました。底に段ボールを入れるとさらに丈夫になるそうです。また、段ボールを利用した簡易トイレを組み立てました。

4年生 1月28日(水)



毛布の両端をくるくると丸めて持つところを作ります。左右3人ずつ運ぶ人を配置します。頭が一番重くなるので、力のある人が担当します。



持ち上げるときは掛け声をかけあって、頭を少し高くしてゆっくりと持ち上げます。足の方を前にして運びます。



棒状に丸めた新聞紙で添え木を作り、サランラップで腕に固定した後、ビニール袋で首から吊り下げて完成。

4年生は災害時に身近にあるものを利用した救護活動について教えていただきました。実際に毛布を使った患者の搬送方法と応急手当の仕方を体験しました。

5年生 1月29日(木)



内水氾濫(町が水浸)と外水氾濫(堤防が壊れて川があふれる)の違いについてお話を聞きました。加古川市は大きな川が流れていて、どちらの場合も起こるかもしれないことがわかりました。また、洪水がよく起こるようになったのは、雨の量が増えたからではなく、雨の降り方が線状降水帯のように一部に集中して降る降り方が増えたからだとなりました。住んでいる地域が浸水する可能性があるかを調べる方法について教えていただきました。

6年生 1月29日(木)



6年生は地震の時の行動シミュレーションを行いました。様々な場面設定に対し、自ら判断して命を守る術を学習。知識を覚えるだけでなく、どんな状況でもパニックにならず、最善の行動を選び取る重要性について深く考えました。

お知らせ



2月6日(金)の参観日に書初めを各学年ワークスペースに掲示しますので、ご覧ください。